

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高格付ユーロ債マザーファンドの受益証券
	ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	内外の公社債、ABS（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、MBS（モーゲージ担保証券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）などおよび短期金融商品
マザーファンドの運用方法	①主としてユーロ建ての公社債、ABS、MBSなど（以下「公社債等」といいます。）およびコマース・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
	②ユーロ建ての公社債等への投資にあたっては、以下の観点からポートフォリオを構築し、運用を行ないます。 イ. 各銘柄の格付けは、取得時においてAA格相当以上（S&PでAA-以上またはムーディーズでAa3以上）とすることを基本とします。 ロ. 取得後、格付けの低下によってAA格相当以上でなくなった場合、委託会社の判断により当該銘柄を保有することもできますが、その範囲は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。 ハ. 政府およびその代理機関が発行・保証する公社債等を除き、一発行体当りの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。 ニ. ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲とすることを基本とします。 ホ. 金利リスク調整のため、ユーロ建ての国債先物取引等を利用することがあります。 ③為替については、ユーロ建資産の投資比率を100%に近づけることを基本とします。 ④有価証券取引、為替・短期資金取引の相手方の選定は、委託会社の社内規則に則って行ないます。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ高格付ユーロ債オープン （毎月分配型）

## 運用報告書（全体版）

第162期	（決算日	2016年4月5日）
第163期	（決算日	2016年5月6日）
第164期	（決算日	2016年6月6日）
第165期	（決算日	2016年7月5日）
第166期	（決算日	2016年8月5日）
第167期	（決算日	2016年9月5日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ高格付ユーロ債オープン（毎月分配型）」は、このたび、第167期の決算を行ないました。

ここに、第162期～第167期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			シティEMU国債インデックス (円換算)		公社債組入比率	債券先物率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
138期末(2014年4月7日)	10,129	25	0.9	20,373	1.6	96.5	-	98
139期末(2014年5月7日)	10,133	25	0.3	20,582	1.0	96.0	-	101
140期末(2014年6月5日)	10,007	25	△1.0	20,377	△1.0	96.3	-	99
141期末(2014年7月7日)	10,007	25	0.2	20,551	0.9	96.0	-	99
142期末(2014年8月5日)	9,942	25	△0.4	20,600	0.2	95.8	-	97
143期末(2014年9月5日)	9,889	25	△0.3	20,731	0.6	95.5	-	94
144期末(2014年10月6日)	9,930	25	0.7	20,938	1.0	96.2	-	94
145期末(2014年11月5日)	10,312	25	4.1	21,800	4.1	97.2	-	95
146期末(2014年12月5日)	10,719	25	4.2	22,948	5.3	96.8	-	90
147期末(2015年1月5日)	10,429	25	△2.5	22,639	△1.3	101.1	-	83
148期末(2015年2月5日)	9,632	25	△7.4	21,298	△5.9	96.2	-	76
149期末(2015年3月5日)	9,593	25	△0.1	21,331	0.2	95.5	-	76
150期末(2015年4月6日)	9,459	25	△1.1	21,330	△0.0	95.8	-	75
151期末(2015年5月7日)	9,614	25	1.9	21,281	△0.2	96.0	-	71
152期末(2015年6月5日)	9,795	25	2.1	21,709	2.0	96.1	-	72
153期末(2015年7月6日)	9,406	25	△3.7	20,819	△4.1	95.6	-	68
154期末(2015年8月5日)	9,470	25	0.9	21,352	2.6	95.8	-	61
155期末(2015年9月7日)	9,268	25	△1.9	20,915	△2.0	95.3	-	61
156期末(2015年10月5日)	9,378	25	1.5	21,444	2.5	95.8	△6.2	61
157期末(2015年11月5日)	9,164	25	△2.0	21,006	△2.0	96.5	△6.2	59
158期末(2015年12月7日)	9,261	25	1.3	21,262	1.2	96.1	△7.0	60
159期末(2016年1月5日)	8,931	25	△3.3	20,608	△3.1	95.7	△6.7	56
160期末(2016年2月5日)	9,098	25	2.1	21,236	3.0	96.2	△6.9	57
161期末(2016年3月7日)	8,662	25	△4.5	20,318	△4.3	96.2	△1.1	55
162期末(2016年4月5日)	8,784	25	1.7	20,855	2.6	96.3	-	55
163期末(2016年5月6日)	8,456	25	△3.4	20,010	△4.1	95.7	-	53
164期末(2016年6月6日)	8,348	25	△1.0	19,963	△0.2	96.1	△7.7	53
165期末(2016年7月5日)	7,900	25	△5.1	19,213	△3.8	96.1	△13.8	50
166期末(2016年8月5日)	7,799	25	△1.0	19,101	△0.6	96.5	△17.1	49
167期末(2016年9月5日)	7,981	25	2.7	19,536	2.3	96.7	△17.0	50

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティEMU国債インデックス (円換算) は、シティEMU国債インデックス (ユーロベース) のデータに基づき円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注6) 債券先物率は買建比率-売建比率です。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

## ■ 基準価額・騰落率

第162期首：8,662円

第167期末：7,981円（既払分配金150円）

騰落率：△6.2%（分配金再投資ベース）

## ■ 基準価額の主な変動要因

ユーロ建ての債券に投資した結果、金利が低下（債券価格は上昇）したことや債券の利息収入を得たことはプラスの寄与となりましたが、ユーロが対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高格付ユーロ債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		シ テ イ E M U 国 債 インデックス (円換算)		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第162期	(期首) 2016年3月7日	円 8,662	% -	20,318	% -	% 96.2	% △ 1.1
	3月末	8,881	2.5	21,019	3.5	96.4	-
	(期末) 2016年4月5日	8,809	1.7	20,855	2.6	96.3	-
第163期	(期首) 2016年4月5日	8,784	-	20,855	-	96.3	-
	4月末	8,583	△2.3	20,187	△3.2	95.7	-
	(期末) 2016年5月6日	8,481	△3.4	20,010	△4.1	95.7	-
第164期	(期首) 2016年5月6日	8,456	-	20,010	-	95.7	-
	5月末	8,550	1.1	20,336	1.6	96.2	△ 7.7
	(期末) 2016年6月6日	8,373	△1.0	19,963	△0.2	96.1	△ 7.7
第165期	(期首) 2016年6月6日	8,348	-	19,963	-	96.1	△ 7.7
	6月末	7,935	△4.9	19,207	△3.8	96.1	△17.1
	(期末) 2016年7月5日	7,925	△5.1	19,213	△3.8	96.1	△13.8
第166期	(期首) 2016年7月5日	7,900	-	19,213	-	96.1	△13.8
	7月末	8,023	1.6	19,562	1.8	96.3	△17.1
	(期末) 2016年8月5日	7,824	△1.0	19,101	△0.6	96.5	△17.1
第167期	(期首) 2016年8月5日	7,799	-	19,101	-	96.5	△17.1
	8月末	7,946	1.9	19,472	1.9	96.6	△17.3
	(期末) 2016年9月5日	8,006	2.7	19,536	2.3	96.7	△17.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

## ○ユーロ圏債券市況

ユーロ圏債券の金利は低下（債券価格は上昇）しました。

第162期首から2016年3月半ばにかけては、ECB（欧州中央銀行）理事会で市場予想を上回る追加緩和が決定されたものの、ドラギ総裁の追加利下げに否定的な発言を受けて、金利は上昇しました。その後は、米国の利上げ観測が後退する中、ベルギーでのテロ発生を受けたリスク回避の動きなどから、金利は低下しました。4月から5月末にかけては、米国の利上げ観測や原油価格の動向などに左右されつつ、金利はレンジ内での推移となりました。6月には、英国のEU（欧州連合）離脱の是非を問う国民投票においてEU離脱派が勝利し、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、金利は低下しました。7月半ば以降は、英国のEU離脱派勝利に対するショックが収束する中、世界的に株価が上昇するなど市場のリスク回避姿勢が和らいだことで金利は上昇しました。

## ○為替相場

ユーロの対円為替レートは下落（円高）しました。

第162期首から2016年3月末にかけては、ECBのドラギ総裁の追加利下げに否定的な発言を受けて、ユーロ円は上昇しました。4月から5月末にかけては、日銀の金融政策決定会合で追加緩和が見送られたことから円高が進行し、ユーロ円は下落しました。6月に入ると、英国の国民投票の結果から市場のリスク回避姿勢が強まり、ユーロ円はもう一段下落する動きとなりました。7月半ばには、英国のEU離脱派勝利に対するショックが収束する中、市場のリスク回避姿勢が和らいだことで、ユーロ円は上昇に転じました。しかし、7月末の日銀の金融政策決定会合では、市場の期待に届かない追加緩和となったことから円高が進み、ユーロ円は再び下落しました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

## ○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

## ○ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオの金利変動リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当作成期間を通じて「ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

### ○ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

ユーロ建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。特に金利低下圧力が強まった局面では、修正デュレーションを長期化した一方、金利上昇傾向が強まる局面では短期化するなど、経済動向や市場環境等を考慮して対応を行ないました。

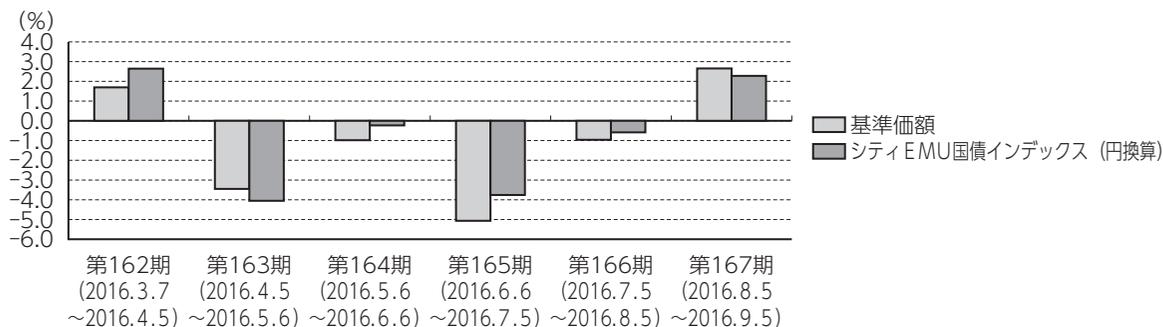
債券種別構成に関しては、国債や社債の組入比率を高めに保ちました。また、国別構成については、フランスの組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、運用方針により、参考指数と比較して信用等级付けがA A格相当に満たない一部の銘柄が投資対象に含まれないという特徴があります。参考指数はユーロ圏債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

第162期から第167期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ25円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2016年3月8日 ～2016年4月5日	2016年4月6日 ～2016年5月6日	2016年5月7日 ～2016年6月6日	2016年6月7日 ～2016年7月5日	2016年7月6日 ～2016年8月5日	2016年8月6日 ～2016年9月5日
当期分配金（税込み）（円）	25	25	25	25	25	25
対基準価額比率（％）	0.28	0.29	0.30	0.32	0.32	0.31
当期の収益（円）	25	19	17	14	13	21
当期の収益以外（円）	—	5	7	10	11	3
翌期繰越分配対象額（円）	2,903	2,897	2,890	2,879	2,868	2,864

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(a) 経費控除後の配当等収益	26.26円	19.15円	17.67円	14.57円	13.21円	21.43円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,809.76	1,809.78	1,809.81	1,810.90	1,810.93	1,810.95
(d) 分配準備積立金	1,092.35	1,093.60	1,087.73	1,079.31	1,068.87	1,057.06
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,928.38	2,922.54	2,915.22	2,904.80	2,893.01	2,889.45
(f) 分配金	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,903.38	2,897.54	2,890.22	2,879.80	2,868.01	2,864.45

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き「ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

### ○ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

今後も主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオの金利変動リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、ユーロ圏各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第162期～第167期		項 目 の 概 要
	(2016.3.8～2016.9.5)		
	金 額	比 率	
信託報酬	56円	0.672%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は8,298円です。</b>
（投信会社）	(22)	(0.270)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(31)	(0.375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0.001	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物）	(0)	(0.001)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.019	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	57	0.692	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ダイワ高格付ユーロ債オープン（毎月分配型）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年3月8日から2016年9月5日まで)

決算期	第162期～第167期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	1	2	745	1,262

(注) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

当作成期間（第162期～第167期）中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種類	第161期末	第167期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	31,276	30,533	50,511

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2016年9月5日現在

項目	第167期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド	50,511	99.1
コール・ローン等、その他	454	0.9
投資信託財産総額	50,966	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月5日における邦貨換算レートは、1ユーロ=115.98円です。

(注3) ダイワ高格付ユーロ債マザーファンドにおいて、第167期末における外貨建純資産（2,885,332千円）の投資信託財産総額（2,890,320千円）に対する比率は、99.8%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年4月5日)、(2016年5月6日)、(2016年6月6日)、(2016年7月5日)、(2016年8月5日)、(2016年9月5日)現在

項目	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末
<b>(A) 資産</b>	<b>56,008,870円</b>	<b>53,930,615円</b>	<b>53,247,610円</b>	<b>50,445,598円</b>	<b>49,807,358円</b>	<b>50,966,454円</b>
コール・ローン等	445,804	428,426	458,270	288,687	459,926	454,864
ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド(評価額)	55,563,066	53,502,189	52,789,340	49,956,911	49,347,432	50,511,590
未収入金	—	—	—	200,000	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>218,834</b>	<b>221,983</b>	<b>221,767</b>	<b>215,527</b>	<b>218,809</b>	<b>218,345</b>
未払収益分配金	158,786	158,790	158,793	158,954	158,957	158,961
未払信託報酬	59,700	62,478	61,903	55,188	58,132	57,324
その他未払費用	348	715	1,071	1,385	1,720	2,060
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>55,790,036</b>	<b>53,708,632</b>	<b>53,025,843</b>	<b>50,230,071</b>	<b>49,588,549</b>	<b>50,748,109</b>
元本	63,514,724	63,516,028	63,517,336	63,581,669	63,583,049	63,584,482
次期繰越損益金	△ 7,724,688	△ 9,807,396	△ 10,491,493	△ 13,351,598	△ 13,994,500	△ 12,836,373
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>63,514,724□</b>	<b>63,516,028□</b>	<b>63,517,336□</b>	<b>63,581,669□</b>	<b>63,583,049□</b>	<b>63,584,482□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	8,784円	8,456円	8,348円	7,900円	7,799円	7,981円

\*第161期末における元本額は63,513,455円、当作成期間（第162期～第167期）中における追加設定元本額は71,027円、同解約元本額は0円です。

\*第167期末の計算口数当りの純資産額は7,981円です。

\*第167期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は12,836,373円です。

■損益の状況

第162期 自2016年3月8日 至2016年4月5日 第165期 自2016年6月7日 至2016年7月5日  
 第163期 自2016年4月6日 至2016年5月6日 第166期 自2016年7月6日 至2016年8月5日  
 第164期 自2016年5月7日 至2016年6月6日 第167期 自2016年8月6日 至2016年9月5日

項目	第 162 期	第 163 期	第 164 期	第 165 期	第 166 期	第 167 期
(A) 有価証券売買損益	990,356円	△ 1,860,877円	△ 462,849円	△ 2,632,429円	△ 425,214円	1,375,066円
売買益	990,356	—	622	—	1,054	1,375,066
売買損	—	△ 1,860,877	△ 463,471	△ 2,632,429	△ 426,268	—
(B) 信託報酬等	△ 60,048	△ 62,845	△ 62,259	△ 55,502	△ 58,467	△ 57,664
(C) 当期損益金(A+B)	930,308	△ 1,923,722	△ 525,108	△ 2,687,931	△ 483,681	1,317,402
(D) 前期繰越損益金	△13,247,707	△12,476,185	△14,558,697	△15,242,598	△18,089,483	△18,732,121
(E) 追加信託差損益金	4,751,497	4,751,301	4,751,105	4,737,885	4,737,621	4,737,307
(配当等相当額)	( 11,494,676)	( 11,495,055)	( 11,495,435)	( 11,514,050)	( 11,514,447)	( 11,514,859)
(売買損益相当額)	(△ 6,743,179)	(△ 6,743,754)	(△ 6,744,330)	(△ 6,776,165)	(△ 6,776,826)	(△ 6,777,552)
(F) 合計(C+D+E)	△ 7,565,902	△ 9,648,606	△10,332,700	△13,192,644	△13,835,543	△12,677,412
(G) 収益分配金	△ 158,786	△ 158,790	△ 158,793	△ 158,954	△ 158,957	△ 158,961
次期繰越損益金(F+G)	△ 7,724,688	△ 9,807,396	△10,491,493	△13,351,598	△13,994,500	△12,836,373
追加信託差損益金	4,751,497	4,751,301	4,751,105	4,737,885	4,737,621	4,737,307
(配当等相当額)	( 11,494,676)	( 11,495,055)	( 11,495,435)	( 11,514,050)	( 11,514,447)	( 11,514,859)
(売買損益相当額)	(△ 6,743,179)	(△ 6,743,754)	(△ 6,744,330)	(△ 6,776,165)	(△ 6,776,826)	(△ 6,777,552)
分配準備積立金	6,946,125	6,909,014	6,862,496	6,796,228	6,721,290	6,698,653
繰越損益金	△19,422,310	△21,467,711	△22,105,094	△24,885,711	△25,453,411	△24,272,333

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第 162 期	第 163 期	第 164 期	第 165 期	第 166 期	第 167 期
(a) 経費控除後の配当等収益	166,847円	121,679円	112,275円	92,686円	84,019円	136,324円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	11,494,676	11,495,055	11,495,435	11,514,050	11,514,447	11,514,859
(d) 分配準備積立金	6,938,064	6,946,125	6,909,014	6,862,496	6,796,228	6,721,290
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	18,599,587	18,562,859	18,516,724	18,469,232	18,394,694	18,372,473
(f) 分配金	158,786	158,790	158,793	158,954	158,957	158,961
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	18,440,801	18,404,069	18,357,931	18,310,278	18,235,737	18,213,512
(h) 受益権総口数	63,514,724□	63,516,028□	63,517,336□	63,581,669□	63,583,049□	63,584,482□

ダイワ高格付ユーロ債オープン（毎月分配型）

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 162 期	第 163 期	第 164 期	第 165 期	第 166 期	第 167 期
1 万 口 当 り 分 配 金	25円	25円	25円	25円	25円	25円
(単 価)	(8,784円)	(8,456円)	(8,348円)	(7,900円)	(7,799円)	(7,981円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

運用報告書 第28期（決算日 2016年9月5日）

（計算期間 2016年3月8日～2016年9月5日）

ダイワ高格付ユーロ債マザーファンドの第28期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の公社債、ABS（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、MBS（モーゲージ担保証券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）などおよび短期金融商品
運用方法	<p>①主としてユーロ建ての公社債、ABS、MBSなど（以下「公社債等」といいます。）およびコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②ユーロ建ての公社債等への投資にあたっては、以下の観点からポートフォリオを構築し、運用を行ないます。</p> <p>イ. 各銘柄の格付けは、取得時においてAA格相当以上（S&amp;PでAA-以上またはムーディーズでAa3以上）とすることを基本とします。</p> <p>ロ. 取得後、格付けの低下によってAA格相当以上でなくなった場合、委託会社の判断により当該銘柄を保有することもできますが、その範囲は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p> <p>ハ. 政府およびその代理機関が発行・保証する公社債等を除き、一発行体当りの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p> <p>ニ. ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲とすることを基本とします。</p> <p>ホ. 金利リスク調整のため、ユーロ建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③為替については、ユーロ建資産の投資比率を100%に近づけることを基本とします。</p> <p>④有価証券取引、為替・短期資金取引の相手方の選定は、委託会社の社内規則に則って行ないます。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

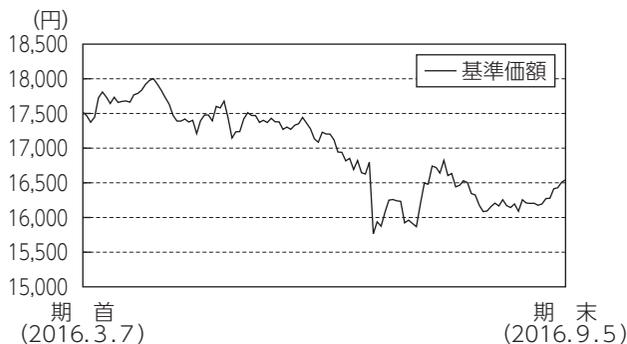
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		シティ E M U 国債 インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債券先物 比 率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %	%	%
(期首)2016年3月7日	17,517	-	20,318	-	96.6	△ 1.1
3月末	17,977	2.6	21,019	3.5	96.7	-
4月末	17,439	△0.4	20,187	△0.6	96.0	-
5月末	17,443	△0.4	20,336	0.1	96.5	△ 7.8
6月末	16,250	△7.2	19,207	△5.5	96.5	△17.2
7月末	16,502	△5.8	19,562	△3.7	96.8	△17.2
8月末	16,414	△6.3	19,472	△4.2	97.0	△17.3
(期末)2016年9月5日	16,543	△5.6	19,536	△3.8	97.1	△17.0

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) シティ E M U 国債インデックス (円換算) は、シティ E M U 国債インデックス (ユーロベース) のデータに基づき円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和投資信託が計算したものです。  
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。  
 (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。  
 (注5) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,517円 期末：16,543円 騰落率：△5.6%

【基準価額の主な変動要因】

ユーロ建ての債券に投資した結果、金利が低下 (債券価格は上昇) したことや債券の利息収入を得たことはプラスの寄与となりましたが、ユーロが対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○ユーロ圏債券市況

ユーロ圏債券の金利は低下 (債券価格は上昇) しました。

期首から2016年3月半ばにかけては、ECB (欧州中央銀行) 理事会で市場予想を上回る追加緩和が決定されたものの、ドラギ総裁の追加利下げに否定的な発言を受けて、金利は上昇しました。その後は、米国の利上げ観測が後退する中、ベルギーでのテロ発生を受けたリスク回避の動きなどから、金利は低下しました。4月から5月末にかけては、米国の利上げ観測や原油価格の動向などに左右されつつ、金利はレンジ内での推移となりました。6月には、英国のEU (欧州連合) 離脱の是非を問う国民投票においてEU離脱派

が勝利し、市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、金利は低下しました。7月半ば以降は、英国のEU離脱派勝利に対するショックが収束する中、世界的に株価が上昇するなど市場のリスク回避姿勢が和らいだことで金利は上昇しました。

○為替相場

ユーロの対円為替レートは下落 (円高) しました。

期首から2016年3月末にかけては、ECBのドラギ総裁の追加利下げに否定的な発言を受けて、ユーロ円は上昇しました。4月から5月末にかけては、日銀の金融政策決定会合で追加緩和が見送られたことから円高が進行し、ユーロ円は下落しました。6月に入ると、英国の国民投票の結果から市場のリスク回避姿勢が強まり、ユーロ円はもう一段下落する動きとなりました。7月半ばには、英国のEU離脱派勝利に対するショックが収束する中、市場のリスク回避姿勢が和らいだことで、ユーロ円は上昇に転じました。しかし、7月末の日銀の金融政策決定会合では、市場の期待に届かない追加緩和となったことから円高が進み、ユーロ円は再び下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオの金利変動リスク (修正デュレーション) については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

◆ポートフォリオについて

ユーロ建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で運用しました。特に金利低下圧力が強まった局面では、修正デュレーションを長期化した一方、金利上昇傾向が強まる局面では短期化するなど、経済動向や市場環境等を考慮して対応を行ないました。

債券種別構成に関しては、国債や社債の組入比率を高めに保ちました。また、国別構成については、フランスの組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、実質外貨比率を高めに保ちました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

今後も主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオの金利変動リスク (修正デュレーション) については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、ユーロ圏各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (先物)	0円 (0)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (2) (0)
合計	3

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 公社債

(2016年3月8日から2016年9月5日まで)

			買付額	売付額
外	ユーロ (オランダ)	社債券	千ユーロ	千ユーロ
			—	1,449 ( — )
国	ユーロ (ベルギー)	国債証券	千ユーロ	千ユーロ
			2,411	650 ( — )

■ 主要な売買銘柄  
公社債

(2016年3月8日から2016年9月5日まで)

当			期		
買	付		売	付	
銘柄	柄	金額	銘柄	柄	金額
		千円			千円
Belgium Government Bond (ベルギー)	4.5% 2026/3/28	275,818	FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス)	8.5% 2019/10/25	267,411
FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス)	0.5% 2026/5/25	185,493	FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス)	4.25% 2018/10/25	192,932
GERMAN GOVERNMENT BOND (ドイツ)	3.25% 2021/7/4	124,528	RABOBANK NEDERLAND (オランダ)	4.75% 2022/6/6	130,326
PROCTER & GAMBLE CO. (アメリカ)	2% 2022/8/16	122,303	Pohjola Bank PLC (フィンランド)	3% 2017/9/8	128,552
FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス)	3.5% 2020/4/25	79,877	FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス)	5.5% 2029/4/25	115,371
Total Capital International SA (フランス)	2.125% 2021/11/19	67,945	Belgium Government Bond (ベルギー)	5.5% 2017/9/28	80,151
			FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス)	8.5% 2023/4/25	59,188
			RABOBANK NEDERLAND (オランダ)	4.75% 2018/1/15	36,882
			FRENCH GOVERNMENT BOND (フランス)	4.5% 2041/4/25	20,704

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

			買付額	売付額
外	ユーロ (フランス)	国債証券	千ユーロ 2,190	千ユーロ 5,517 ( — )
		社債券	549	( — )
	ユーロ (ドイツ)	国債証券	千ユーロ 1,076	千ユーロ ( — )
		社債券	—	千ユーロ 1,039 ( — )
	ユーロ (その他)	社債券	千ユーロ 989	千ユーロ ( — )
		国債証券	千ユーロ 5,678	千ユーロ 6,168 ( — )
国	ユーロ (ユーロ通貨計)	社債券	1,538	千ユーロ 2,488 ( — )

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2016年3月8日から2016年9月5日まで)

種類別	買 建		売 建	
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国 債券先物取引	百万円 280	百万円 559	百万円 1,632	百万円 1,450

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

# ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

## ■組入資産明細表

### (1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	作 成 期	額 面 金 額	当 期		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	末		
			評 価 額	外 貨 建 金 額			評 価 額	残 存 期 間	別 組 入 比 率
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ユーロ（アイルランド）		千ユーロ 2,000	千ユーロ 2,164	千円 251,010	% 8.7	% -	% -	% 4.6	% 4.1
ユーロ（オランダ）		千ユーロ 700	千ユーロ 746	86,573	3.0	-	-	-	3.0
ユーロ（ベルギー）		千ユーロ 3,300	千ユーロ 4,477	519,328	18.0	-	15.0	-	3.0
ユーロ（フランス）		千ユーロ 7,400	千ユーロ 9,207	1,067,855	37.0	-	23.4	13.6	-
ユーロ（ドイツ）		千ユーロ 900	千ユーロ 1,067	123,852	4.3	-	-	4.3	-
ユーロ（フィンランド）		千ユーロ 1,000	千ユーロ 1,087	126,136	4.4	-	-	4.4	-
ユーロ（その他）		千ユーロ 4,900	千ユーロ 5,422	628,941	21.8	-	8.9	4.6	8.2
合 計		20,200	24,173	2,803,699	97.1	-	47.3	31.5	18.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ユーロ（アイルランド）	GE Capital European Funding	社 債 券	% 6.0000	千ユーロ 1,000	千ユーロ 1,143	千円 132,580	2019/01/15
	GE Capital European Funding	社 債 券	4.2500	1,000	1,021	118,430	2017/03/01
国小計	銘柄数 金額	2銘柄		2,000	2,164	251,010	
ユーロ（オランダ）	RABOBANK NEDERLAND	社 債 券	4.7500	千ユーロ 700	千ユーロ 746	86,573	2018/01/15
国小計	銘柄数 金額	1銘柄		700	746	86,573	
ユーロ（ベルギー）	Belgium Government Bond	国 債 証 券	5.5000	200	318	36,993	2028/03/28
	Belgium Government Bond	国 債 証 券	5.5000	700	745	86,479	2017/09/28
	Belgium Government Bond	国 債 証 券	4.5000	2,400	3,413	395,855	2026/03/28
国小計	銘柄数 金額	3銘柄		3,300	4,477	519,328	
ユーロ（フランス）	FRENCH GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	8.5000	千ユーロ 1,200	千ユーロ 1,543	178,970	2019/10/25
	FRENCH GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	8.5000	1,400	2,222	257,736	2023/04/25
	FRENCH GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	5.5000	200	327	37,973	2029/04/25
	FRENCH GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	3.5000	600	688	79,816	2020/04/25
	FRENCH GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	0.5000	1,500	1,543	179,042	2026/05/25
	Banque Federative du Credit Mutuel SA	社 債 券	4.1250	1,000	1,159	134,527	2020/07/20
	Banque Federative du Credit Mutuel SA	社 債 券	2.6250	1,000	1,167	135,458	2024/03/18
	Total Capital International SA	社 債 券	2.1250	500	554	64,329	2021/11/19
国小計	銘柄数 金額	8銘柄		7,400	9,207	1,067,855	

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ユーロ (ドイツ)	GERMAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	%	千ユーロ 900	千ユーロ 1,067	千円 123,852	2021/07/04
国 小 計	銘 柄 数 金 額	1銘柄		900	1,067	123,852	
ユーロ (フィンランド)	Pohjola Bank PLC	社 債 券	2.0000	千ユーロ 1,000	千ユーロ 1,087	126,136	2021/03/03
国 小 計	銘 柄 数 金 額	1銘柄		1,000	1,087	126,136	
ユーロ (その他)	Nordea Bank AB	社 債 券	3.7500	千ユーロ 1,000	千ユーロ 1,018	118,111	2017/02/24
	BNZ International Funding Ltd/London	社 債 券	1.2500	1,000	1,023	118,661	2018/05/23
	Svenska Handelsbanken AB	社 債 券	4.3750	1,000	1,223	141,894	2021/10/20
	PROCTER & GAMBLE CO.	社 債 券	2.0000	900	1,004	116,473	2022/08/16
	National Australia Bank Ltd	社 債 券	4.0000	1,000	1,153	133,800	2020/07/13
国 小 計	銘 柄 数 金 額	5銘柄		4,900	5,422	628,941	
合 計	銘 柄 数 金 額	21銘柄		20,200	24,173	2,803,699	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘 柄 別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外 国	百万円	百万円
BUND(10YR)(ドイツ)	-	400
OAT 10YR(フランス)	-	92

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年9月5日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,803,699	% 97.0
コール・ローン等、その他	86,621	3.0
投資信託財産総額	2,890,320	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。  
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月5日における邦貨換算レートは、1ユーロ=115.98円です。  
(注3) 当期末における外貨建純資産 (2,885,332千円) の投資信託財産総額 (2,890,320千円) に対する比率は、99.8%です。

# ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年9月5日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,898,421,506円</b>
コール・ローン等	21,478,691
公社債(評価額)	2,803,699,244
未収入金	8,621,997
未収利息	46,005,326
前払費用	3,402,017
差入委託証拠金	15,214,231
<b>(B) 負債</b>	<b>11,164,237</b>
未払金	8,117,900
未払解約金	3,046,337
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>2,887,257,269</b>
元本	1,745,320,559
次期繰越損益金	1,141,936,710
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,745,320,559口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	16,543円

\*期首における元本額は1,890,182,630円、当期中における追加設定元本額は7,694,888円、同解約元本額は152,556,959円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ高格付ユーロ債オープン(毎月分配型) 30,533,513円、ダイワ世界債券ファンドM(FOFs用)(適格機関投資家専用) 44,601,369円、ダイワ世界債券ファンドVA(適格機関投資家専用) 17,143,919円、ダイワ世界債券ファンド(毎月分配型) 1,586,872,563円、ダイワ世界債券ファンド(年2回決算型) 1,999,499円、ダイワ高格付3通貨債券ファンド(毎月分配型) 64,169,696円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は16,543円です。

## ■損益の状況

当期 自2016年3月8日 至2016年9月5日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>54,478,031円</b>
受取利息	54,557,436
支払利息	△ 79,405
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 224,753,282</b>
売買益	30,778,509
売買損	△ 255,531,791
<b>(C) 先物取引等損益</b>	<b>△ 4,125,130</b>
取引益	4,037,357
取引損	△ 8,162,487
<b>(D) その他費用</b>	<b>△ 485,833</b>
<b>(E) 当期損益金(A + B + C + D)</b>	<b>△ 174,886,214</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>1,420,802,956</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 109,489,608</b>
<b>(H) 追加信託差損益金</b>	<b>5,509,576</b>
<b>(I) 合計(E + F + G + H)</b>	<b>1,141,936,710</b>
次期繰越損益金(I)	1,141,936,710

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。